

# 一般県道勝山インター線（勝山恐竜橋）

## 11月6日(日) 開通!!

県が事業を進めている一般県道勝山インター線と勝山恐竜橋が11月6日(日)に開通する予定です。開通にあたり、開通式、開通記念イベントなどを開催しますので、市民総出で開通を祝いましょう。

### 【開通式典】

場所…遅羽町比島（勝山恐竜橋 左岸側）

- 13:00 交通安全祈願祭（施工者主催）
  - 13:30 開通式典
  - 14:10 テープカット、親柱除幕、みむろ太鼓披露
  - 14:25 勝山恐竜橋渡り初め
- 📍 一般県道勝山インター線（勝山恐竜橋）開通式実行委員会（建設課内） ☎88-8107

### 【開通記念イベント】

場所…鹿谷町発坂（勝山インター線 道路上）

- 12:00 開会式
  - 12:50 ステージイベント（鹿谷童子、福井市消防音楽隊）
  - 13:40 開通記念ウォーキング（健康チャレンジ10P）
- その他、振る舞いなどがあります。
- 📍 鹿谷町中部縦貫自動車道促進対策委員会（鹿谷公民館内） ☎89-2111

※雨天決行とします。ただし荒天、災害などによりイベントを中止または中断する場合があります  
 ※指定車両以外は勝山インターチェンジ付近「勝山スノーベース」に駐車願います  
 ※当日行事などが全て終了した後、午後4時30分から一般車両の通行ができます

# 勝山市道の駅「恐竜渓谷ジオパーク（仮称）」

## 基本計画を策定

〜平成32年のオープンを目指して〜

市では、荒土町松ヶ崎に計画しております道の駅整備に向けて、広く市民と関係機関および有識者の意見を反映することを目的に組織する「勝山市道の駅基本計画検討会議」を平成28年2月3日に開催しました。

その後、平成27年度重点「道の駅」の選定を受け、より計画を具体的に実効性の伴うものとするため、国、県など関係行政機関を加えた「勝山市道の駅「恐竜渓谷ジオパーク（仮称）」基本計画協議会」に移行し、さらに協議会に分野ごとにより専門的見地から意見を聞くために道路・河川管理分科会、地域振興分科会を置き、「道の駅」に導入すべき機能や各種施設の規模や配置、事業の進め方などについて検討してきました。

また、平成28年8月1日〜31日の1か月間、まとめた素案についてパブリックコメントを実施し、広く市民の皆さまに周知、意見の募集を行い、その結果をふまえ勝山市道の駅「恐竜渓谷ジオパーク（仮称）」基本計画（以下基本計画）を策定しました。

### 基本計画の計画コンセプトおよび基本方針

#### 【基本コンセプト】

「人が集い 出会い交流し 地域に広げる 恐竜渓谷ジオパーク（仮称）」

#### 【整備の方向性を示す基本方針】

- ①勝山市に人を呼び込む ②出会い、そして交流する
- ③市内外周遊とリピートを促す

### 道の駅が目指す地域振興を実現するための導入機能

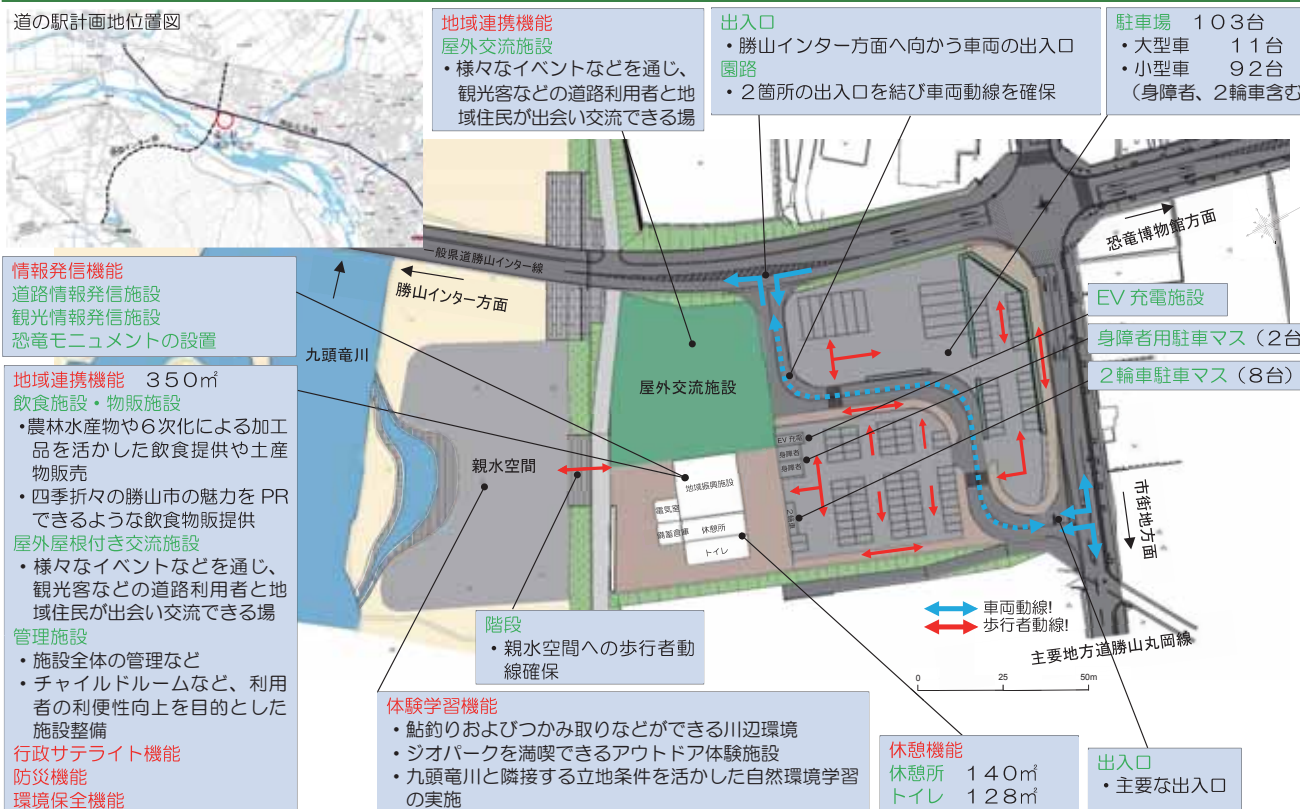
計画コンセプトおよび基本方針をふまえ、勝山市が目指す観光の産業化による市全体の観光消費額の増大や、雇用増、人口増を実現するため、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能、体験学習機能、行政サテライト機能、防災機能、環境保全機能などを設けることとしています。

今後、道路管理者である県と連携して、平成32年のオープンを目標に取り組んで行く予定です。

### 基本計画の公表

詳細につきましては、市ホームページにおいて公表していますので、ご覧ください。

#### 道の駅施設配置計画図



※詳細な施設規模および建物などの施設配置計画については今後基本設計・実施設計段階で検討します

### 肝がん撲滅フォーラム2016

#### 市民公開講座「まいごち、肝臓!」を開催

10月1日に市民会館で開催され、200人以上が参加しました。その講演内容についてご紹介いたします。

#### 講演1 「ウイルスと肝炎」

福井大学第2内科教授 中本安成先生

肝がんの原因は、8割が肝炎ウイルス（B型・C型）によるもので、日本人は100人に1人の割合で肝炎ウイルスに感染しています。また、年間1万人が新規に感染しています。

B型肝炎を予防するには、ワクチン接種で効果があり、10月1日より赤ちゃんを対象にB型肝炎予防接種が開始されました。C型肝炎は、副作用が少ない飲み薬で治る時代へと変わってきました。

まずは、肝炎ウイルス検査を受けましょう。

#### 講演2 「肝がん」

福井大学 第2内科講師 根本朋幸先生

C型肝炎は進行すると肝がんになります。C型肝炎は沈黙の臓器です。症状がないまま全国で年間3万人が肝がんになっていきますが、がん治療は年々進歩しており、肝がんは減少傾向にあります。

アルコールや肥満などによる脂肪肝は今後も要注意です。

#### 講演3 「肝臓と消化管」

福井勝山総合病院 副院長 須藤弘之先生

肝臓は沈黙の臓器です。症状がないまま慢性肝炎は肝硬変に徐々に進行していきます。肝硬変は、むくみや腹水などの症状だけ

ではなく、食道胃静脈瘤など消化管の合併症を併発することもあります。ウイルス性肝炎の進行を止め、肝がんや消化管の合併症を予防するために抗ウイルス療法を受けましょう。

#### 講演4 「肝炎対策」

福井県健康増進課長 宮下裕文先生

県では、肝炎対策として無料肝炎ウイルス検査や、肝炎医療費助成制度を行っています。肝炎の専門医がいる医療機関が奥越地区では、福井勝山総合病院だけとなっています。

#### 講演5 「肝臓とくすり」

福井勝山総合病院 薬剤部長 竹内哲夫先生

慢性肝炎や肝硬変の初期など、薬で完治できる時期にしっかりと治療しましょう。薬は患者一人ひとりにあわせて処方されているので他の人にあげることがあやまらう。薬の飲み合わせに気をつける必要があります。今飲んでる薬やサプリメントは主治医に伝えましょう。

肝炎の薬は一定期間飲み続けることで効果がでるので、自己判断でやめないようにしましょう。



最後に中本先生が、「肝炎ウイルスに感染しても症状がないからといってほととくのではなく病院に行きましょう。肝臓は自分で守ることです。しあわせ度はUPします」と話し講演会を閉じました。

健康長寿課（すいやか内） ☎87-0888